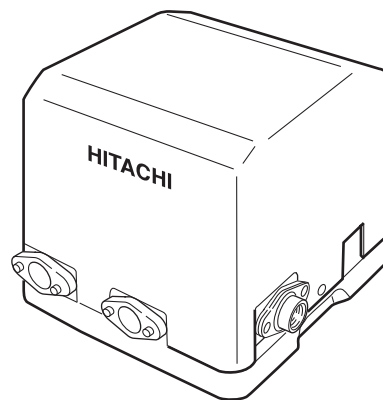


日立浅井戸用コンパクトポンプ

〔单相用〕WM-P125V形・WM-P200V形

このたびは日立ポンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。



もくじ

取り扱いについて

	ページ
安全上のご注意	2
各部の名称と使いかた	4
使用上のご注意	6
故障かな...と思ったら	7
仕様	7
保証とアフターサービス	8

据付工事について(販売店様・工事店様用)

	ページ
据え付け前の確認	9
据え付け時のご注意	10
配管工事について	11
配線工事について	12
運転について	13
運転圧力の切替えについて	15
運転モードの切替えについて	16
除菌器の接続について	17
角形受水槽との組み合わせについて ...	17
防寒について	18
BL保険制度について	18
表示について	19



据え付けは専門工事が必要ですから、販売店・工事店へ依頼し、お客様自身では行わないでください。
ご購入のポンプの形名確認は、ポンプカバーの表示をご覧ください。

安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

警告



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。

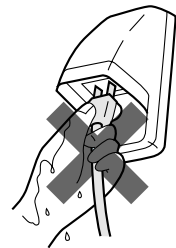
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。また、ぬれた手で抜き差ししない。

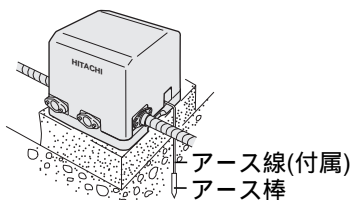
感電やけがをすることがあります。



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。

故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



アース線(付属)
アース棒

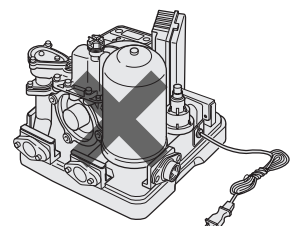


禁止

ポンプカバーを外したまま使用しない。

ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。

ポンプカバーを取り付ける際は、電源コードおよびアース線を挟み込んで傷つけないように注意してください。



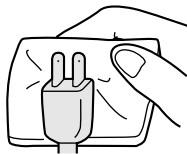
警告



清掃

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく。

火災の原因になります。



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。

誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



修理時対応

動かなくなったり、異常がある場合は事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くかブレーカーを切って、お買い上げの販売店に必ず点検・修理を依頼する。

感電や漏電・ショートなどにより火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

注意



電源

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切る。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

凍結の恐れのある場合は、水抜きをしてください。(6ページ参照)



禁止

ポンプの上に物を載せたり、人が乗ったりしない。

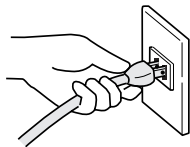
変形・脱落によりけがをする恐れがあります。



注意

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

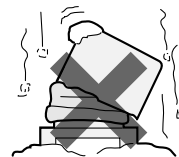
感電やショートして発火することがあります。



禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー内に燃えやすいものを入れない。

過熱して発火することがあります。



禁止

運転中や運転直後のポンプやモータ、コントローラに触れない。

高温になっていますので、やけどの原因になります。



禁止

通電時は、凍結防止用ヒータには触れない。

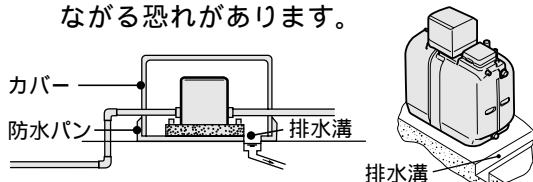
高温になっていますので、やけどの原因になります。



禁止

防水処理・排水処理されていない床面に設置しない。

水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



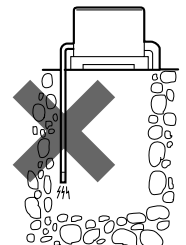
床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。



禁止

空運転（水のない状態での運転）はしない。

ポンプ内の水が熱湯になりやけど・故障の原因になります。



禁止

このポンプは清水以外の液体には使用しない。

破損により、けがや感電の恐れがあります。



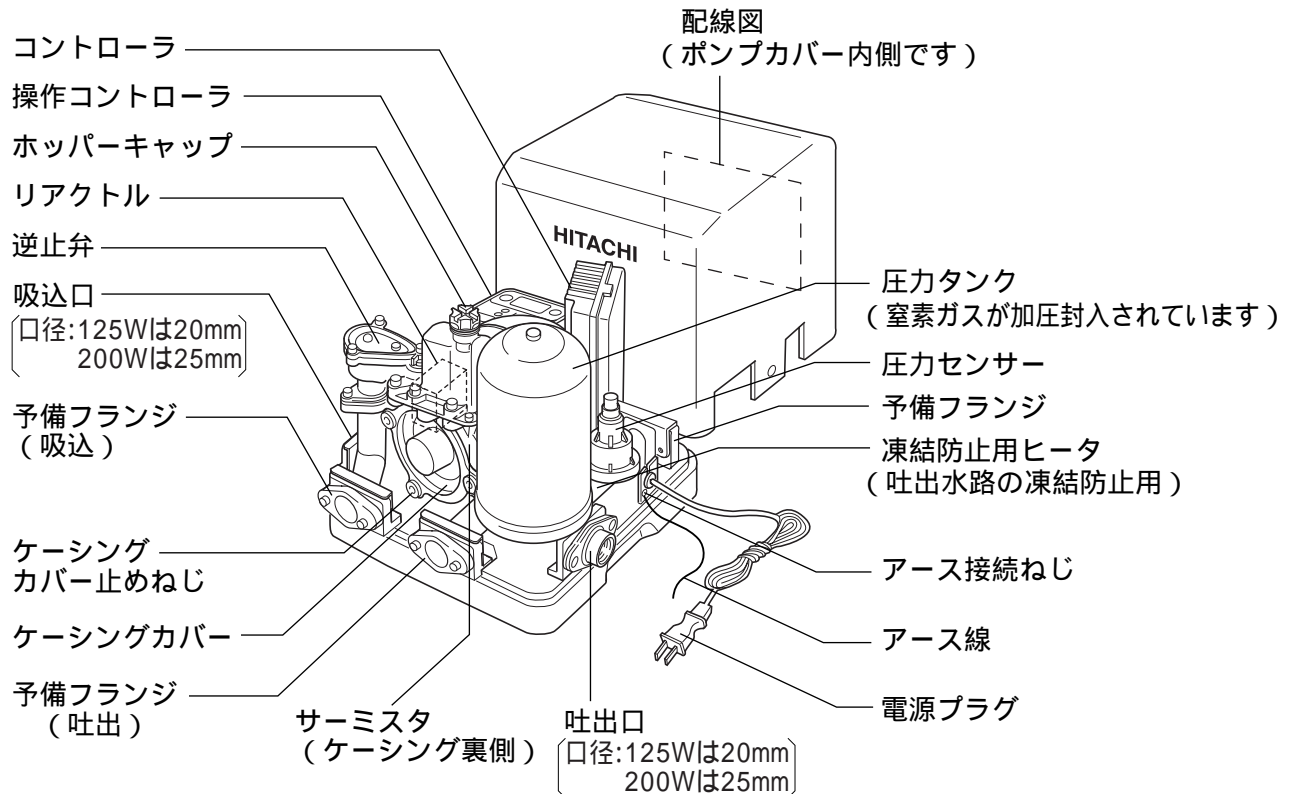
注意

製品の取り扱い時は手袋をして作業を行う。

万一のけが防止のためです。

各部の名称と使いかた

WM-P125V形・WM-P200V形



凍結防止用ヒータ

周囲温度により、凍結防止用ヒータに通電します。

通電中は、凍結防止用ヒータが高温になっていますので、手を触れないでください。

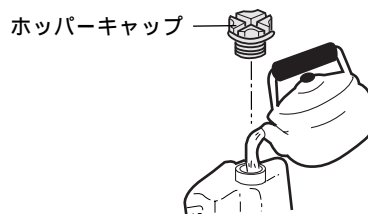
凍結防止の効果は、周囲温度 -5 までが目安です。

ホッパーキャップ

呼び水のしかた

据え付け後、運転のはじめにホッパーキャップを外して呼び水を入れます。

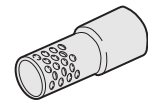
モータ、コントローラ、リアクトルなどの電気部品に水がかからないように注意してください。



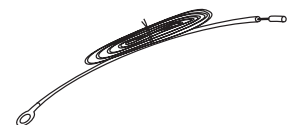
数分で揚水しない場合は、再び呼び水をしてください。

付属品 (取り付けかたは〔据付工事について〕の項を参照してください)

ストレーナー
吸込管の先端に接続します。




アース線



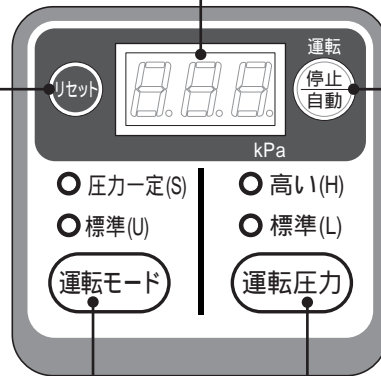
操作コントローラの働き

数字表示素子 7セグLED





通常は吐き出し圧力を表示します。
例えば  のときは170kPaです。
(ムダな電力を抑えるため、数字表示素子は10分後に消灯します。詳細は、「表示について」(P19)を参照してください。)
ポンプに異常が生じると異常を表示し、内容に応じてポンプを停止します。

リセットボタン

異常表示の解除などに使用します。



停止 / 自動ボタン

ポンプ運転中に押すと  を表示し、ポンプが停止します。もう一度押すと、 機種コード(例: ) 圧力表示(例: ) を表示し、運転を開始します。

運転モードボタン

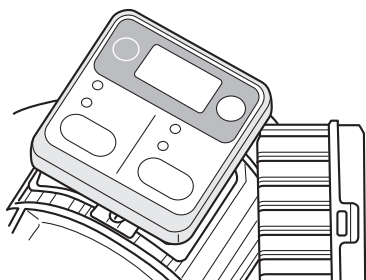
運転モードを切替えるときに使用します。詳細は、「運転モードの切替えについて」(P16)を参照してください。

運転圧力ボタン

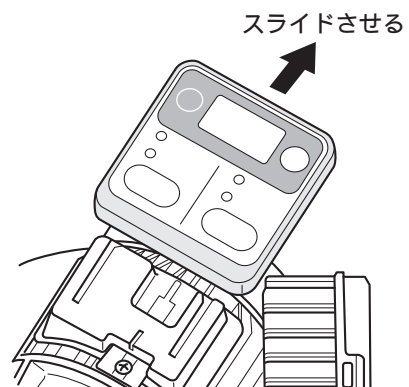
運転圧力を切替えるときに使用します。詳細は、「運転圧力の切替えについて」(P15)を参照してください。

操作コントローラは、取り外すことができます、操作しにくいときは、取り外してご使用ください。

取り付け状態

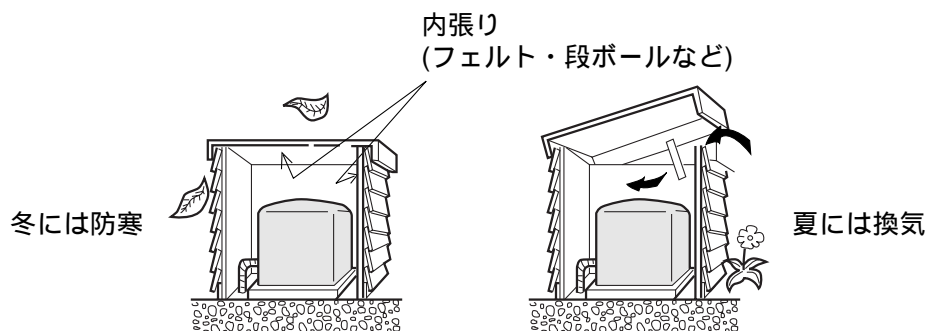


取り外し方法



使用上のご注意

冬期には、必ず凍結防止策を行ってください。(詳細は18ページ参照)



3～4日間以上水を使用されなかった場合、ポンプ内部の水が濁っていることがあります。このようなときには、5～6分間水栓から水を流し、水がきれいになってからご使用ください。

配管の凍結防止のため、水栓から少量の水を流し続けることは、ポンプの運転停止がひん繁になり寿命を縮めますのでおやめください。



ポンプの水抜きについて


冬期に長時間ポンプを使用せず、電源プラグをコンセントから抜いている場合は、下記の手順で水抜きを行ってください。電源プラグをコンセントから抜いている場合、ポンプの凍結保護機能(詳細は18ページ参照)が作動せず、ポンプヘッド部が凍結し破損する恐れがあります。再び使用するときは、呼び水を入れてから運転してください。(呼び水のしかたは、4ページを参照してください)

水抜きのしかた

- 1 停止自動 を押し、ポンプを OFF にします。
- 2 電源プラグを抜きます。
- 3 吐き出し側の水栓を開き、圧力を逃します。
- 4 ケーシングカバーを本体から外して水を抜きます。
- 5 水が全部抜けましたら、ケーシングカバーを元どおりの位置に止めねじ(4本)で固定します。

ご注意 ケーシングカバーには、漏水防止のためのパッキン(オリング)が装着されています。ケーシングカバー組込みの際は、パッキンの脱落やパッキンのかみ込みがないよう注意してください。

故障かな...と思ったら

症状	点検するところ	
ポンプが回らない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ブレーカー、ヒューズが切れていませんか。 漏電遮断器が作動していませんか。 異常表示が出ていませんか。 (詳細は、「表示について」(19ページ)を参照してください。)	 異常があるときは、ご使用中を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
水栓を閉じててもポンプが止まらない	水栓や配管から漏水していませんか。 (13ページの 3 漏水の確認方法に従い点検をしてください。) 吸込管はしっかり接続され、空気の吸込みはありませんか。 コントローラの数字表示素子<7セグLED>は、OFF圧力以上を表示していますか。 吸上げ高さ3m以上で「高い(H)」を使用していませんか。 ご注意 水栓を閉じた状態でも、タイマーが働きしばらく運転しますが、異常ではありません。	

仕様

形名		WM-P125V〔BL認定品〕		WM-P200V〔BL認定品〕		
相・定格電圧		単相100V				
モータ定格出力		125W		200W		
定格消費電力		295W		390W		
定格周波数		50-60Hz				
制御方式		PAMインバータ制御				
運転圧力	標準(U)	ON圧力	60kPa	100kPa	150kPa	190kPa
		OFF圧力	110kPa	150kPa	200kPa	240kPa
	圧力一定(s)	120kPa	160kPa	160kPa	200kPa	
揚水量(L/min)		21(吸上げ高さ8m時)		28(吸上げ高さ8m時)		
(全揚程12m時)		28(吸上げ高さ3m時)		35(吸上げ高さ3m時)		
吸上げ高さ		8m	3m	8m	3m	
押上げ高さ		5m	9m	14m	18m	
フランジ径	吸込管	20mm(³ / ₄ B)		25mm(1B)		
	吐出管	20mm(³ / ₄ B)		25mm(1B)		
質量		13kg				

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げの日から3年です。

補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居される時

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼される時は

出張修理

7ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎている時は

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	浅井戸用コンパクトポンプ
形名	WM-P200V形など
製造番号	7000001など
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 運転するとブレーカーや漏電遮断器が作動する。
- ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。
- 水を使用していないのに、ポンプが運転する。
- コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れがする。(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など)
- 焦げ臭い“におい”がする。
- 触るとビリビリと電気を感じる。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを切ってから必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 365日 / 9:00 ~ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

(受付時間) / 9:00 ~ 17:30(月 ~ 土)
日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからでもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。

据付工事について(販売店様・工事店様用)

〔工事をされる方へお願い〕

製品機能が十分発揮できるように、この「据付工事について」の内容に沿って正しく取り付けてください。

据え付け後は必ず試運転を行い、水漏れや運転状態に異常がないか確認してください。

据え付け前の確認

1 電源の確認

使用するポンプの電源と合っているか確認してください。

単相用ポンプ...単相100V

2 据え付け場所の確認

点検・修理のしやすい場所を選んでください。

ポンプはできるだけ水源の近くに取り付けてください。

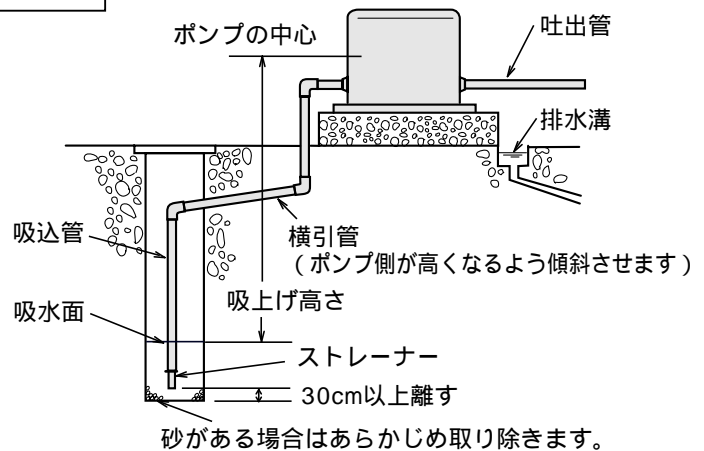
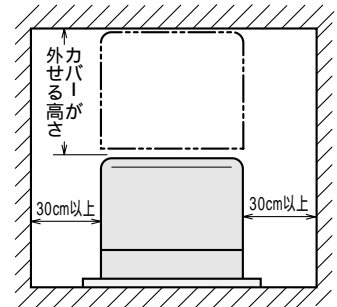
横引きの距離(水源からポンプまで)は吸上げ高さ(吸水面からポンプの中心まで)によって制限されます。

吸上げ高さは、湯水時の水位低下を考えて決めてください。

吸上げ高さによる横引管の長さ制限

吸上げ高さ(m)	8	7	6
横引管の長さ(m)	3	14.5	26

お手入れのため、周囲上下とも余裕をとってください。



3 砂の確認

新しく井戸を掘られた場合は、あらかじめ井戸の砂を十分に取り除いてから配管してください。

砂が多い場合は、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。(10ページ参照)

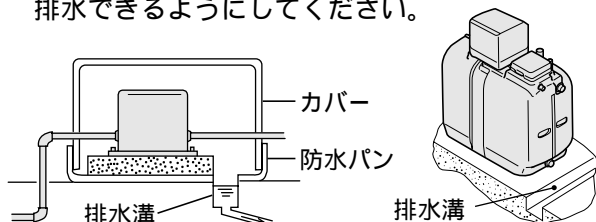
据え付け時のご注意

⚠ 注意

禁止 防水処理・排水処理されていない床面に設置しない。

水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

防水パン・カバーなどで、噴き出した水が必ず排水できるようにしてください。

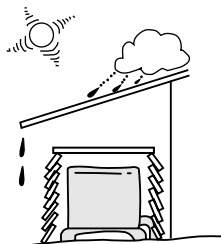


カバーは風通しがよい構造にしてください。

床面が防水処理・排水処理されていない場合の水漏れ被害については責任を負えません。

屋外で使用できますが、できるだけ風雨や直射日光が当たらないところに据え付けてください。

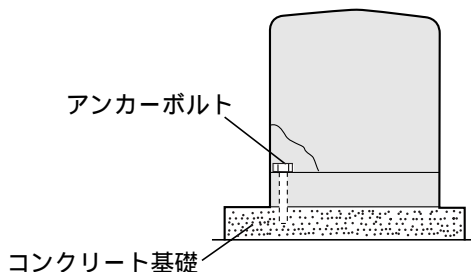
製品を長持ちさせることができます。



* 屋外に据え付けるときは、ポンプ小屋をつくってください。(6ページ参照)

水平に設置し、動かないようアンカーボルトで固定してください。

基礎は沈下を防ぐために、コンクリートでつくをおすすめします。

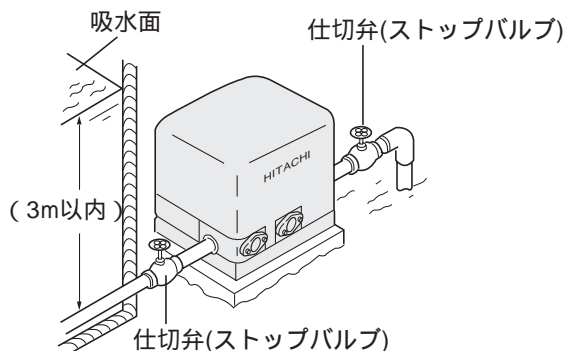


吸水面がポンプヘッドより高くなるときの(押込揚程のとき)は、3m以内にしてください。

* ウォーターハンマーなどにより、ポンプの部品が破損したり、漏水するのを防ぎます。

吸い込み口近傍に仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。

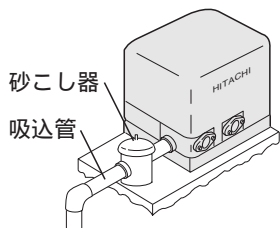
* 点検・修理の際に必要です。



砂を吸い上げやすい井戸には、別売りの「砂こし器」を取り付けてください。

砂こし器はポンプの吸込側に取り付けてください。(吐出側に取り付けると、砂こし器が水圧に耐えられず、水漏れする恐れがあります。)

* ポンプヘッドの砂かみや摩耗を防ぐためです。



市販の給水機器との組み合わせについて

ご注意 ポンプ吐き出し圧力は、「仕様」(7ページ)を参照してください。

フラッシュバルブとの組み合わせ

フラッシュバルブを使うと、いったん水がとぎれますので、使用は避けてください。

水道メーターの確認

水道メーター取り付け位置における最大圧力を規制している地域がありますので、所轄水道局施工基準などの法規に従ってください。

テレビやラジオを近づけないでください。

テレビの画面が乱れることがあります。また、テレビ・ラジオの雑音の原因になります。

配管工事について

1 ポンプと配管の接続

使用する配管の太さ

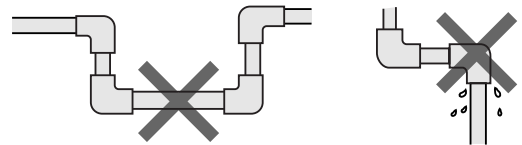
市販のバルブ用ソケットを用意して、下表の配管太さの水道用硬質塩化ビニル管で接続してください。

形名	配管の太さ(内径)
WM-P125V	20mm
WM-P200V	25mm

2 配管工事

ポンプ内に異物が混入しないよう吸込管に付属のストレーナーを必ず取り付けてください。
(9ページ参照)

水の抵抗を少なくするため、配管はできるだけ短く、曲げる個所を少なくしてください。
(性能低下、揚水不能の原因になります)

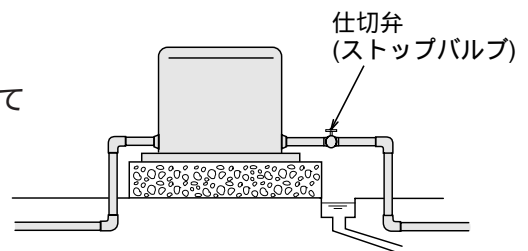


配管の継ぎ目は水漏れがないよう確実に行ってください。
(性能低下の原因になります)

吐出口は位置を変えることができます。
吐出フランジと予備フランジをボルトとともに交換します。
(予備フランジの位置は4ページを参照してください)

吐出口には、必ず仕切弁(ストップバルブ)を取り付けてください。

*点検・修理の際に必要です。



3 配管の互換性について

従来ポンプとの互換性があります。

4 最高水栓の取り付け位置

配管や水栓の抵抗、ガス湯沸器やシャワーなどの必要最小圧力を考慮して器具や水栓の取り付け位置(高さ)を決めてください。

配線工事について

⚠ 警告



配線工事

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。
誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

1 専用配線としてください。

本製品はマイコンにて制御していますので、運転時の電圧が低くならないよう
(定格電圧の $\pm 10\%$ 以内)にしてください。
ほかの家電品などへ悪影響を与えないため、専用の配線にしてください。

2 アースと漏電遮断器の取り付け

⚠ 警告



アース接続

アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置する。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

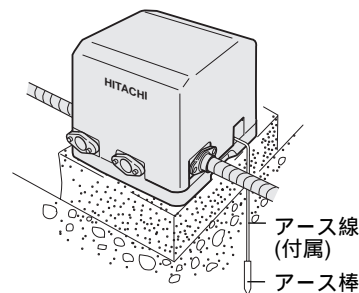
万一、漏電したときの感電事故を防ぐため、必ず取り付けてください。(取り付けは有料です)
アースおよび漏電遮断器に関する工事は、専門工事(電気工事士が行います)が必要です。
工事の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

アース線の接続について

D種接地工事(第3種接地工事)をしてください。

既設のアース線があるときは、D種接地(第3種接地)を満足している
ことを確認してから接地してください。

ご注意 次のようなところには、絶対にアース線を接続
しないでください。(法令などで禁止)
ガス管、電話線、避雷針、水道管(水栓)



漏電遮断器について

漏電遮断器は \diamond または ∇ マークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で、
電路の定格電流以上のものを電路に取り付けてください。
既設の漏電遮断器があるときは、上記の確認をしてください。

3 電源電線の取り付け

専用のコンセントを設けて、電源プラグを差し込んでください。
やむをえず屋外にコンセントを設けるときは、防水形コンセントを使用してください。

運転について

1 試運転



- ① ホッパーキャップを外し、呼び水を十分に入れたあと、ホッパーキャップをしっかりねじ込みます。


(呼び水のしかたは4ページを参照してください)



押し込み配管のときは、水源から急激に流れ込む場合がありますのでご注意ください。

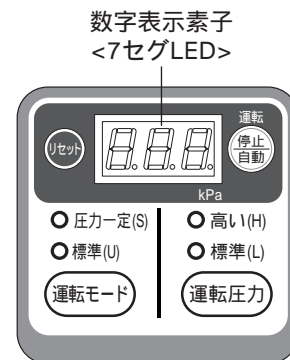
- ② 吐き出し側の水栓を1か所開きます。

- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

数字表示素子に  機種コード(例：) 圧力が表示され、ポンプが運転を開始します。

数分たっても揚水しない場合は、呼び水が不足している場合があります。そのときは、 を押してポンプを停止し、再び呼び水をしてください。

ポンプを停止しますと、数字表示素子<7セグLED>に  が表示されます。呼び水をしましたら、再度  を押してください。ポンプが運転を開始します。



ご注意

空運転によるポンプの傷みを防ぐため、ポンプに呼び水をしないうちに運転することは禁物です。

電源プラグをコンセントに差し込むと、ポンプは自動的に運転しますので注意してください。ムダな電力を抑えるため、数字表示素子は10分後に消灯します。(19ページ参照)


2 運転状態の確認

異常なく運転を開始したら、水栓を開閉し、ポンプの運転状態や漏水箇所がないか確認してください。

水栓を閉じてポンプが停止することを確認してください。

ポンプの起動頻度を抑えるため、水栓を閉じた状態でもタイマーが働き、しばらく運転しますが、異常ではありません。

ご注意





水栓を閉じたあと、凍結保護運転(表示：)を開始する場合がありますが、異常ではありません。

水栓を開いて水を使用しますと、通常運転(表示：吐き出し圧力表示)に戻ります。

3 漏水の確認方法

ポンプ圧力を高圧にして、漏水の有無を確認できます。

<手順>

- ①  を押し、ポンプを  にします。
- ② 水栓を開き、水栓から水が出なくなったのを確認後、水栓を閉じてください。
- ③  を表示している状態で、 を押し続けるとポンプが強制運転を開始します。

圧力が強制運転停止圧力値に上昇してポンプが自動停止するまで

 を押し続けます。

運転について(続き)

形名	運転圧力	強制運転停止圧力
WM-P125V	標準(L)(工場出荷時)	約200kPa
	高い(H)	約250kPa
WM-P200V	標準(L)(工場出荷時)	約240kPa
	高い(H)	約290kPa

吸上げ高さによっては強制運転停止圧力値まで上昇しない場合があります。

<7セグLED>の圧力値に上昇が見られなくなったら、を離してください。

- ④ ③の状態(ポンプ停止)で、<7セグLED>の圧力値が低下するようでしたら漏水が考えられます。漏水箇所がないか確認してください。

4 運転モードについて

用途によっては運転モードを切替えてください。

標準(U)(工場出荷時)

ポンプの運転：ON圧(起動圧)とOFF圧(停止圧)が設定されており、起動、停止を繰り返します。

詳細は「運転モードの切替えについて」(16ページ)を参照してください。

圧力一定(S)

ポンプの運転：圧力変動を抑えて運転します。

尚、モータ停止直後に数秒間運転することがありますが、異常ではありません。
(次回起動時の圧力低下を防ぐためです)

配管や水栓に水漏れがある場合や、長時間連続して水を使う場合は、標準(U)をおすすめします。

吐き出し圧力の設定は「運転圧力の切替えについて」(15ページ)を参照してください。

運転圧力の切替えについて

運転圧力を変更し、押し上げ高さを切替えることができます。
使用状態や用途に応じて切替えてください。

運転圧力の切り替え方法

運転圧力は吸上げ高さに応じて操作コントローラで切替えることができます。

形名	運転圧力	吸上げ高さ	押し上げ高さ	標準(U)	
				ON圧力	OFF圧力
WM-P125V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m~0m	5m	60kPa	110kPa
	高い(H)	吸上げ3m~押し込み3m	9m	100kPa	150kPa
WM-P200V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m~0m	14m	150kPa	200kPa
	高い(H)	吸上げ3m~押し込み3m	18m	190kPa	240kPa

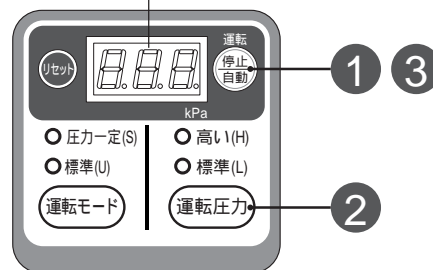
ご注意 高い(H)でご使用になる場合は、吸上げ高さ3m以内で使用してください。
過負荷によるポンプの故障や寿命低下を防ぐためです。
また、吸上げ高さ3m以上で使用すると、ポンプが止まらない場合があります
ので、標準(L)で使用してください。

運転圧力の切替え方法

- 1 を押して **0.0.0** にします。
- 2 を押し、希望のモード (● 標準(L) または ● 高い(H)) のランプを点灯させます。
- 3 を押します。

以上で設定完了です。

数字表示素子<7セグLED>



ご注意 を押す前にリセットボタンを押すと、設定前に戻ります。

各ボタン () を長押しすると、サービス機能を表示することがあります。

万一、サービス機能(P19記載以外)が表示された場合は、リセットボタンを押してください。

運転モードの切替えについて

シャワーなどで安定した水圧が必要な場合は、運転モードを標準(U)から圧力一定(S)に切替えて使用してください。ただし、配管や水栓から水漏れしている場合や、長時間連続して水を使う場合は、標準(U)をおすすめします。

標準(U)について

ポンプの起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)を定め、ポンプを断続的運転させる運転モードです。

運転圧力の設定により、起動圧力(ON圧力)・停止圧力(OFF圧力)が下表のように変わります。

形名	運転圧力	吸上げ高さ	押上げ高さ	標準(U)	
				ON圧力	OFF圧力
WM-P125V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m～0m	5m	60kPa	110kPa
	高い(H)	吸上げ3m～押込み3m	9m	100kPa	150kPa
WM-P200V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m～0m	14m	150kPa	200kPa
	高い(H)	吸上げ3m～押込み3m	18m	190kPa	240kPa

圧力一定(S)について

ポンプの吐き出し圧力の変動を抑えた運転をしますので、シャワーなどに適しています。一定制御圧力(吐き出し圧力)は、下表の設定となっております。

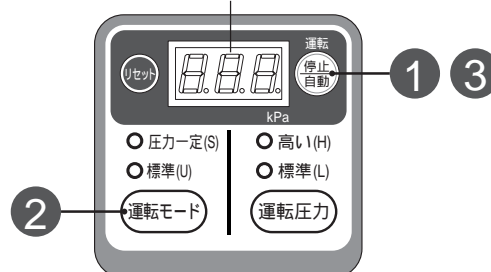
形名	運転圧力	吸上げ高さ	押上げ高さ	一定制御圧力
WM-P125V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m～0m	9m	120kPa
	高い(H)	吸上げ3m～押込み3m	13m	160kPa
WM-P200V	標準(L)(工場出荷時)	吸上げ8m～0m	13m	160kPa
	高い(H)	吸上げ3m～押込み3m	17m	200kPa

運転モードの切替え方法

- 1 停止自動 を押して **0.0.0** にします。
- 2 運転モード を押し、希望のモード (● 標準(U) または ● 圧力一定(S)) のランプを点灯させます。
- 3 停止自動 を押します。

以上で設定完了です。

数字表示素子<7セグLED>



ご注意 各ボタン(**停止自動** **リセット** **運転モード** **運転圧力**)を長押しすると、サービス機能を表示することがあります。
 万一、サービス機能(P19記載以外)が表示された場合は、リセットボタンを押してください。

除菌器の接続について

除菌器を接続する際は、下記に注意してください。
除菌器はポンプの運転状態に応じて間欠運転します。

1 結線について

除菌器を接続する際は、必要に応じて下記パーツ部品を購入してください。
結線方法などの詳細はパーツ部品の説明書をご覧ください。

	組 み 合 わ せ 除 菌 器			
	CS-20J形以前	CS-20NS形	CS-30S、CS-30S2、CS-30V、CS-30V2形	
部 品 名	セツゾクコネクタ(CS)	パーツ部品不要	配管接続の場合	ポンプで制御する場合
部 品 番 号	CS-20J1 002	パーツ部品不要	パーツ部品不要	テイスクウンテンハーネス CS-30S 021

2 カルキ量の調整について

除菌器接続後は、カルキ量の調整を再度行ってください。
(カルキ量の調整方法は、除菌器の取扱説明書を参照してください)

ご注意 使用水量が3L/分未満ではカルキ量(残留塩素量)が安定しません。
他社除菌器と組み合わせた場合、正常な動作を保証できません。
日立除菌器との組み合わせを推奨します。

角形受水槽との組み合わせについて

1 角形受水槽の設置について

取り付けの詳細は、角形受水槽の取扱説明書をご覧ください。

2 断水リレー接続について

J形以前の角形受水槽に付属の断水リレーを接続する際は、右記パーツ部品を購入してください。
結線方法などの詳細はパーツ部品の説明書をご覧ください。

部品名	部品番号	使用数量
セツゾクコネクタ(UB)	UB-200J 007	1

3 運転圧力の切替えについて

運転圧力は切替え可能です。
詳細は15ページを参照してください。

4 満水警報器接続について

B-US以前の満水警報器を接続する際は、右記パーツ部品を購入してください。
結線方法などの詳細はパーツ部品の説明書をご覧ください。

部品名	部品番号	使用数量
セツゾクハーネス(B-U)	UB-200V 003	1

防寒について

寒い地方はもちろんですが、暖かい地方でも冬期には寒波急襲によって、ポンプや配管が凍結し破損することがありますので、必ず凍結防止策を行ってください。

凍結保護機能がついていますが、周囲温度が -5 以下に達する場合には、必ず凍結防止策を行ってください。

1 ポンプ本体の保温

囲いによる保温

ポンプ全体を覆うようなポンプ小屋を作り、内側に保温材をはって防寒してください。

* 夏季は換気ができるような構造にしておいてください。

⚠ 注意



ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプのカバー内に燃えやすいものを入れない
過熱して発火することがあります。

禁止

凍結保護機能について

凍結温度に達すると、ポンプが強制運転するとともに凍結防止ヒータに通電してポンプを保護します。
凍結防止の効果は周囲温度が -5 くらいまでが目安です。

* 凍結保護運転については、「表示について」(19ページ)を参照してください。

2 配管の保温

露出部には保温材を巻き、横引き配管は地中に埋めてください。

* 埋める深さはその地方の気温や地質によって異なります。

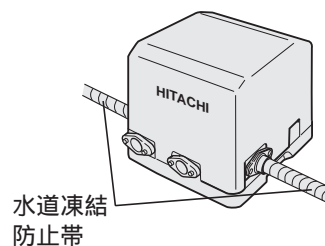
3 水道凍結防止帯による保温

市販の水道凍結防止帯を露出配管に巻きつけてください。

さらにその上から保温材を巻き、固定しますとより効果的です。

* 凍結による破損事故については、責任を負えませんので、

凍結防止対策は徹底して行ってください。



水道凍結防止帯

BL保険制度について

当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付がされている製品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。

BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.blhp.org/>) や当社のポンプホームページ (<http://kadenfan.hitachi.co.jp/pump/>) をご覧ください。

BLマーク証紙



BLマーク証紙

品名 給水ポンプシステム

財団法人 ベターリビング

Tel.03-5211-0680

瑕疵保証・賠償責任保険付

表示について

コントローラに数字表示素子<7セグLED>が付いています。異常が生じると異常モードを表示し、ポンプを停止します。表示内容によって、すみやかに処置してください。

1 通常表示 (ムダな電力を抑えるため、数字表示素子は10分後に消灯します。)

	表示	お知らせ内容
吐出圧力 点灯時	[例]	ポンプの吐き出し圧力を表示します。 モータが止まっている状態です。
	[例]	ポンプの吐き出し圧力を表示します。 モータが回転している状態です。
吐出圧力 消灯時		ポンプの電源が入っており、モータが停止している状態です。 (運転モード) または (運転圧力) を押すと、数字点灯に戻ります。
		ポンプの電源が入っており、モータが回転している状態です。 (運転モード) または (運転圧力) を押すと、数字点灯に戻ります。

2 異常表示 (販売店、工事店へ連絡し、お客様は処置しないでください)

表示	お知らせ内容	処置
	空運転 井戸の水位低下やポンプの呼び水が落ちた場合に表示し、ポンプが停止します。	井戸の水位や逆止弁からの水落ちを確認してください。
	受水槽断水 上水道の断水などにより、受水槽内が空になった場合に表示し、ポンプが停止します。	断水の原因を確認してください。
	過昇温 ポンプカバー内が異常に高温となった場合に表示し、ポンプが停止します。 (約45℃まで温度が下がると自動復帰します)	修理を依頼してください。
	過電圧 異常に高い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	電源電圧を確認してください。
	不足電圧 異常に低い電源電圧が印加された場合に表示し、ポンプが停止します。	電源電圧を確認してください。
	過電流 異常な電流が流れたときやモータ信号線の断線などの場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
	モータロック 砂かじりなどによって羽根車がロックした場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
	圧力センサー断線 圧力センサーからの信号が入らない場合に表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
	サーミスタ断線 温度検知の信号が入らないときに表示し、ポンプが停止します。	修理を依頼してください。
	高圧力 ポンプ内圧が400kPa以上のときに表示します。	水道管直結または押込み高さが3m以上になっていないか確認してください。

3 凍結保護運転表示

表示	お知らせ内容	処置
	凍結保護運転 周囲の温度が約3℃になると自動的にポンプを運転させるとともに、凍結防止ヒータに通電してポンプヘッドの凍結を防止します。	凍結保護運転中に水を使用しますと、通常運転に戻ります。

お客様メモ

後日のために記入しておいて
ください。

サービスを依頼される時、
お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

平成 **年** **月** **日**

 **日立アプライアンス株式会社**

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111